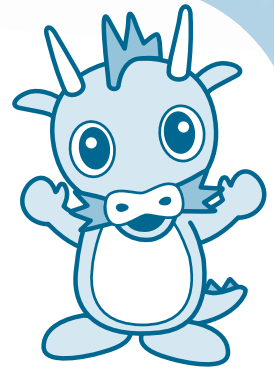


# 鐘の音

～かねのね～



vol.40

2018.10 発行



大宮の古い地名「鐘塚」。そこに建てられた「パートナーシップさいたま」から男女共同参画推進の鐘の音を響かせたい、そんな願いを込めて名づけました。



(情報・資料コーナー、交流コーナー)

## パートナーシップさいたま

開館時間	平日 9:00～21:00 土・日・祝日 9:00～17:00
休館日	第4日曜日、年末年始
会議室利用	男女共同参画の推進を目的とする活動にご利用ください。 (会議室・プレイルームは利用登録が必要です。)
情報・資料、交流コーナー	本や雑誌、行政資料、ビデオなどの貸出しをしています。 また、話し合いの場にもご利用いただけます。

## パートナーシップ出前講座のご案内

さいたま市内の学校・事業所等へ、テーマごとに専門の講師を無料で派遣します！  
お気軽にパートナーシップさいたまへお問い合わせください。

### ワーク・ライフ・バランス

働き方改革により、日本人の働き方が見直されるようになってきました。

仕事で生きがいと責任を果たしながら、同時に家庭や地域活動など私生活も充実させる「ワーク・ライフ・バランス」(仕事と生活の調和)の基本的な考え方から実践的な取組など、「働きやすい職場」について学びます。

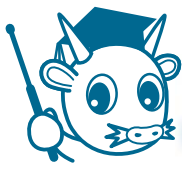
### デートDV防止

交際している親密な2人の間に起きる暴力は「デートDV」と呼ばれ、好きな人と交際しているはずなのに、「つらい」「怖い」「不安」と感じてしまう。束縛を愛情だと勘違いして、自分の思い通りに相手を支配していることに気づかない2人。被害者にも、加害者にもならないために、一緒に考えていきましょう。

### 性の多様性

性的マイノリティ(性的少数者)の方々への差別や偏見をなくすため、性の多様性に関する基礎知識を学び、理解を深めましょう。





# 平成30年度主催事業のご案内

パートナーシップさいたま主催のセミナー・講座を一部ご紹介します！すべて託児付。

## DV防止セミナー

DVが子どもたちの心身や発達に及ぼす影響を知り、私たち大人に何ができるのかを考えます。

**日時** 平成30年 11月11日(日)  
14:00~16:00

**場所** 生涯学習総合センター 多目的ホール

**講師** 白川 美也子(精神科医)

## エキスパートに学ぶ！性の多様性！

LGBTをはじめとした多様な性を学び、性的マイノリティについての理解を深める講座。

**日時** 平成30年 11月5・12・19日(いずれも月曜日)  
19:00~21:00

**場所** パートナーシップさいたま

**講師** 渡辺 大輔(埼玉大学基盤教育研究センター)  
星野 慎二((認定)特定非営利活動法人SHIP)

## 傷ついた心のケア講座

DV・モラハラなどで傷ついた心を抱えている方が、心身の回復のため、安全な場の中で自分の心と向き合うための講座。

**日時** 平成30年10月31日、11月28日、12月19日  
(いずれも水曜日)  
平成31年1月28日、2月25日、3月18日  
(いずれも月曜日)  
10:00~12:00

**場所** 11~12月…プラザイースト(緑区)  
10月・1~3月…パートナーシップさいたま(大宮区)

**講師** 西山 さつき(NPO法人レジリエンス)  
宇野 慶子(さいたま市事業コーディネーター)

## HPのご案内

講座の申込時期、その他の実施講座については、市報さいたま、パートナーシップさいたまのホームページなどで随時お知らせします。

右のQRコードを読み込んでアクセスすることもできますので、ぜひご覧ください。



## ナールマガジンのご案内

パートナーシップさいたまから、講座のご案内等をメールにて配信しています。ご希望の方はdanjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jpまでご連絡ください。右のQRコードからメールアドレスを読み込むこともできます。



## コラム

### 女性の生き方と社会、その幸福と葛藤

コラムを執筆しようと筆を取ったら、「時の流れに身をまかせ」という曲が頭の中にすっかり居座ってしまった。これは取り扱うほかあるまい。テレサ・テンが歌うこの曲は恋愛がベースになっており、「あなたしか愛せない」「人生捨てることもかまわない」「命さえいらぬ」というような熱烈な表現が並ぶ。こう思われない(言われない)という男性の羨望そのものなのだろう。しかし、ここで皆様に問いたい。この曲が最近発売されていたとしたら、ヒットしただろうか？

この曲が当たり前に受け入れられた時代の女性には、いい学校を出て、いい仕事について、結婚して、子供を産み育て家庭を守るといふ確固としたロールモデルがあった。男性目線で生き方が考えられていた時代、理想形として疑う余地はなかったのだろう。

現代はどうだろうか。「出産」という役割を担った女性には、常に社会の視線と期待が向けられ、未だに自分の気持ちだけで自由に人生を選択していくのは難しい。結婚して妊娠したら、命と向き合わなければならぬ。負担が軽くなることも、葛藤や不安が絶えることもない。女性の歩む人生は苦勞が多く、幾度も心と身体が裂かれるような葛藤を繰り返す。

それでも、女性として生まれたことを幸せに思うのはなぜだろう。女性として経験する葛藤や苦悩、それ自体がかけがえのない女性の人生の成長の軌跡であり、幸福そのものでもあるように感じる。

現代社会を動かすのは、未だ多数を占める男性意見である。産まれる時代を選べなくても、理不尽な社会であっても、人生の大きな選択はもちろん、毎日の小さな家事分担ですら人生の中で得た経験はすべて花となり実を結ぶ。そう感じながら、毎日を生きたい。

(河西 純恵)

## 性暴力 その後を生きる

～深い傷と回復への道のり～

平成30年7月25日(水)、With You さいたまで「性暴力その後を生きる～深い傷と回復への道のり～」が開催されました。会場は満員で、参加者の大部分は女性でした。講師はNPO法人レジェリエンス代表の中島幸子さんでした。レジェリエンスでは、できるだけ被害者という言葉は使わず「☆さん」という言葉を使っているそうです。☆さんとは輝きを持った人たちという意味で、性暴力、DV等傷ついた経験を抱えながらも一生懸命生き延びている人全てを含んでいます。

本来なら性暴力は性犯罪であるべきですが、法廷等で性犯罪と認められるためにはハードルがとても高く、「レイプされました」「夫に強姦されました」と訴えても、「本当に抵抗しましたか」「あなた、その人と結婚していますね」等と責められ、警察や法廷で理解してもらえないために訴えないという選択をする☆さんが大勢います。健全な性行為と性暴力とはまったく違うものです。健全な性行為は、

愛情や尊重、対等という要素が必ず含まれます。一方、強引で一方的で不快に感じたり、気持ち踏みじられたりした場合は性暴力だと言えます。性暴力について考える時には、「その時点で性的自己決定権が発揮できていたか否か」という点を見ていくことが大切です。性的自己決定権は、夫婦や恋人をはじめ、どんな関係であろうと、自分が性的な行為をするかしないかを自分の意思で決定できる権利です。

性暴力は、☆さんに罪悪感、自責の念、恥、みじめさ、つらさといった強烈な感情をもたらします。これらが自分の中にあると気付いたら、少しずつ外に出していくことが助けになります。つらい出来事から良い方向、成長を遂げるような方向へと困難を乗り越える力(レジェリエンス)を身に着け、たとえ耐え難い経験に直面してもその後成長がもたらされるかもしれないと考える方が将来に希望を持つことができます。人が生きるためには希望が大切です。

(新藤 賢十郎)

## 女性として、母として、仕事人として。

～川上未映子の世界～



川上未映子さん

平成30年7月29日(日)、子育て女性の支持を集めるエッセイ『きみは赤ちゃん』の著者で、芥川賞作家の川上未映子さんの講演会が開催されました。

会場には、同書に共感し、励まされたという読者を中心に、ほぼ満席の盛況ぶりでした。

出産から6年が過ぎたいま、当時は言葉にできなかったことが増え、それが「実はこういうことなんだ」と理解できることが増えてきたという川上さん。講演は、本にも書かれた妊娠・出産で周囲から受ける「母親はこうあるべき」という押しつけに触れ、様々な「べき」を考え違いだとして一刀両断。夫婦の関係性、性別役割分担の問題、意識改革の優先、子どもたちの教育に対してなど、川上さんが考える本当の「こうあるべき」へと話が続きました。例えば、「母子手帳」を「親子手帳」にするべきという話は、妊娠から始まる子育てに父親も含むことを意識つける手段として、すぐにも実現できそうなことと思えました。

現在の育児環境は、母親を孤独に追い詰めがちで、親に

は経済的プレッシャーが課されるといふ男女ともに良いことなしのイメージ。それを打破するために、夫婦で現状を見つめ、子育てを共有する最善策をしっかりと話し合うことが肝心で、それが最終的には家族のカタチを良いものにするのではないかと。多くのヒントが話されるなか、「男女の役割をフラットにすれば、きっと皆が楽になれるはず。それには、男の子たちをどう教育するかにかかっている。私たちが取り組まなければならないことです」という言葉が、この日一番強く響きました。

質疑応答の時間には、義母との距離感に悩む女性や、キャリアを諦めて専業主婦になったことへの自分との折り合いが見つからないと悩む女性、仕事と子育てを両立する女性からの理想の母親像とのギャップの悩み、妻のために単身赴任を決めたものの子育てを一緒にできないジレンマに悩む男性から手があがりしました。様々な選択を迫られ、迷いや後悔が生まれたとしても、まずは最初の選択を信頼することも必要。時間が経てば状況は変わり、新たな選択が可能になるのだと話されると、会場が一瞬明るくなったように感じました。

(三澤 裕子)



### 情報コーナーで貸し出し中の図書のご案内です

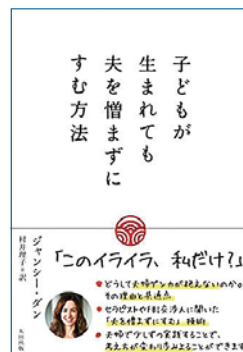
「こんなはずではなかった」…子育て・家事に対する考え方の違いで起こる様々な問題。その解決策のヒントを教えてくれる本の紹介です。(武田 礼子)



### きみは赤ちゃん

川上未映子著 文藝春秋(2014)

35歳で子どもをつくることを決めてから、妊娠・出産を経て1歳の誕生日を迎えるまでの川上さんの心と体の記録。言いたいところ、しんどいところをユーモアのある文で読みやすく、母親の気持ちが伝わります。男性にも読んでもらいたいです!



### 子どもが生まれても夫を憎まずにすむ方法

ジャンシー・ダン/村井理子(訳) 太田出版(2017)

夫婦の幸せな生活が続くはずが…妊娠・出産・育児で夫婦は離婚の危機に! 幸せな夫婦に戻るための解決策は? 2人が取り組んだ「夫婦再生プロジェクト」とは? 読んでお互いが幸せに暮らせる方法を見つけてください。

©ジャンシー・ダン/村井理子(訳) 太田出版

## 相談のご案内

●相談は無料です。●秘密は厳守します。

### ●女性の悩み電話相談

女性の生き方、夫婦、親子の問題、職場や近隣の人間関係などの相談に応じます。

子ども家庭総合センター 男女共同参画相談室	☎048-711-6650
月～金／10:00～20:00 土・日・祝／10:00～16:00	
浦和区役所 女性の相談室	☎048-829-6129
月・火・水・金／10:00～17:00	
中央区役所 女性の相談室	☎048-840-6132
火・金／10:00～17:00	
岩槻区役所 女性の相談室	☎048-790-0158
月・水／10:00～17:00	

### ●女性のための法律相談(予約制)

女性の弁護士が相談に応じます。

パートナーシップさいたま 第2・第4水曜日／13:00～15:30	☎048-642-8107
男女共同参画相談室 第1・第3火曜日／13:00～15:30	☎048-711-5739

### ●女性のための心の健康相談(予約制)

専門の女性の医師が相談に応じます。

男女共同参画相談室 第4金曜日／13:30～16:15	☎048-711-5739
--------------------------------	---------------

### ●男性の悩み電話相談

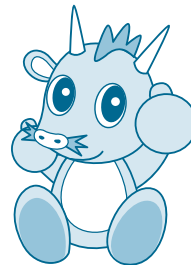
男性の生き方・仕事・家庭・夫婦・人間関係などの相談に応じます。

男女共同参画相談室 第2・第4火曜日／18:30～20:30(祝日は除く)	☎048-711-6101
--	---------------

## 気が付いていますか? こんなこともDV(暴力)です!

- あなたが外出することを嫌がる。
- しょっちゅう連絡が来て、すぐに返事をしないと怒られる。
- 「バカ」「どうせできない」などと言われる。
- うまくいかないことがあると、あなたのせいになる。
- 怒られるのがいやで、言うことを聞いてしまう。
- 相手が家にいる(帰ってくる)と緊張する。

ささいなことでも  
気になることがあれば  
すぐに相談しよう。



●さいたま市では、市民団体等と協働してDV防止に取り組み、安心安全なまちづくりを進めています!

**女性のDV相談電話 048-762-3880**

【月～金曜日：10時～17時受付(祝日、年末年始は除く)】

## 県民講座「知っていますか? LGBT」

是非  
ご参加  
ください!!

講座名	日時	内容
基礎編	平成30年 11月29日(木) 14時～16時	LGBTに関する考え方や言葉の意味など基礎的な知識について 【講師】(認定)特定非営利活動法人 SHIP代表 星野慎二氏
子供のLGBT編	平成30年 12月6日(木) 14時～16時	LGBTの子供に対する配慮や対応について 【講師】LGBTユースの居場所「にじず」主宰 遠藤まめた氏

会場はいずれも、  
埼玉県男女共同参画  
推進センター

- さいたま市中央区  
新都心2-2  
ホテルプリランテ武蔵野  
3・4階

**申込方法** 平成30年11月2日(金)までにメールまたはファックス(受講希望日、郵便番号、住所、氏名、電話番号、託児希望の有無、手話通訳希望の有無を明記)で県人権推進課(メール a2250-02@pref.saitama.lg.jp、ファックス 048-830-4718)へ申込

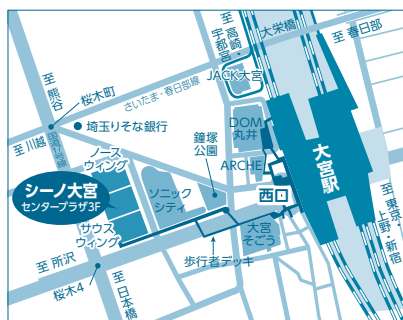
ほ  
っ  
と  
た  
い  
む

たしか50歳を過ぎた頃から髪の毛に白いものが目立つようになり、なんとなくヘアマニキュアを始めていました。私の母が、ふと気が付くと染めるのをやめて綺麗な白髪になっていたので「白髪も悪くないな...」と思い、60歳を機にヘアマニキュアをやめてみました。初めはとうとう染めないの?」と言われても、今も白髪です。電車に乗ると席を譲ってくださった方もいて、「優しい方がいるんだな...」と感じ、年寄りのイメージなのかと思いつつも白髪で自分らしく生きていきます。(武田 礼子)

広報誌「鐘の音」のご感想、ご意見をお寄せください。  
郵便、FAX、E-mailでパートナーシップさいたままでお願いします。

パートナーシップさいたま広報誌「鐘の音」vol.40 2018年10月1日  
(編集・発行)  
さいたま市男女共同参画推進センター(愛称:パートナーシップさいたま)  
編集員/河西純恵・新藤賢十郎・武田礼子・三澤裕子  
〒330-0854 さいたま市大宮区桜木町1-10-18 シーノ大宮センタープラザ3階  
電話 048-642-8107 FAX 048-643-5801  
E-mail : danjo-kyodo-sankaku@city.saitama.lg.jp

◆ホームページもご覧ください◆ **パートナーシップさいたま** **検索**  
10・3月発行(年2回)



JR大宮駅西口 徒歩8分

自転車で越しの場合、シーノ大宮駐輪場が無料でご利用になれます。



さいたま市

この広報誌は600,500部作成し、1部当たりの印刷経費は2.1円です。